

第12回

tokyo breast consortium

ちい散歩

win win winの連携

八王子乳腺クリニック

東京都八王子市三崎町4-8 篠崎ビル4F

院長：三坂 武温

場所と院内のイメージ



当院での診療内容

- がん検診・健診：対策型：八王子市乳がん検診
任意検診：自費健診

*診察：検診（または健診）からの二次検査（精密検査）
一般診療：良性疾患診断、経過観察、
悪性疾患診断、術後経過観察、一部加療

*検査内容：MMG、乳房US、乳管造影、乳管内視鏡、細胞診、
生検（CNB、MMT(US)、MMT(ST)、外科的生検）、
ハーセプチン加療、ホルモン治療（内服、注射）。

*原則当院で行えない検査は連携患者様の場合、治療先にお問い合わせするか、
連携先の画像診断施設で行い（患者様と主治医に相談）、その結果を患者様
にお渡ししています。CT、MRI、PET-CT、シンチグラフィ、骨密度測定な
ど。

当院の連携への考え方

- 原則、主治医は1人。
 - * 治療方針、検査方針は主治医が複数では、患者様が動揺します。
- 連携先はサポーターに徹すること。
 - * 主治医、治療先病院での治療方針、経過観察方針は各病院ごと（主治医ごと）に合わせる。
 - * 処方内容、処方期間、検査時期などは基本は手帳を基準にする。各病院の方針があればそれに合わせるか、一度主治医へ打診する。
 - * 各連携先の病院のシステム、方針を常に情報交換することが重要。
 - * 手帳も重要だが必要に応じて電話やメールなどでのやり取りも行う。
 - * 少しでも治療先の方針、方法を近づけることが、「場所が変わっても同じ・・・」と患者様が思えるような診療が重要と考えます。
- 患者様の理解も必要。
 - * 上記連携スタイルを続けることと患者様が連携先、連携元とのやり取りがわかるように、また自身の経過観察の方向性がわかるように手帳を利用することが重要。＝医療機関側だけの連携では、連携は成り立ちません。

当院での連携実績

癌患者数：総数：H24年度：109人
H25年度：112人

うち、主な連携先へ送ったがん患者中
→連携手帳を利用して現在通院している同期間の患者数

H24年4月～H25年度末
151人

主な連携先の病院へ送った患者様は、現在化療中の患者様を除き、ほぼ全例戻ってきています。

手帳による連携のない70名のうち、主たる連携先病院以外へご紹介した患者様の多くは加療終了、またはある程度の期間を過ぎないと戻ってこないのが現状です。